

Ver3.2.0000 バージョンアップ方法（スタンドアロン/サーバー用）

2010年3月

TOTO リモデルプロモーションセンター

1. 本プログラムの主な改善内容

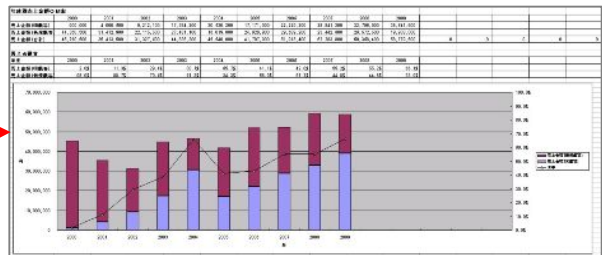
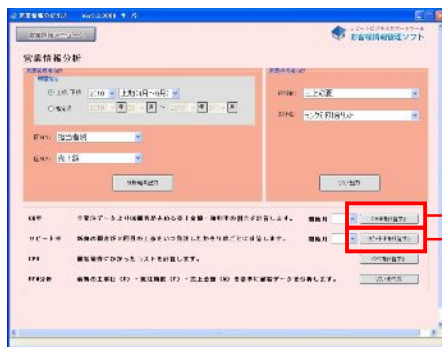
Ver3.2.0000 は、以前のバージョン（Ver3.1.0100）から、多くの機能改善を行いました。その中でも、大きな改善は、「レポートビジネス分析機能」「インポートツール データ入出力項目の追加」「顧客情報と紹介者情報の結びつけ」の3機能の追加です。

1-1. リポートビジネス分析機能

レポートビジネス用の分析機能として、「OB率」「リピート率」「CPO」「RFM分析」の4つの分析機能を追加しました。

【OB率】

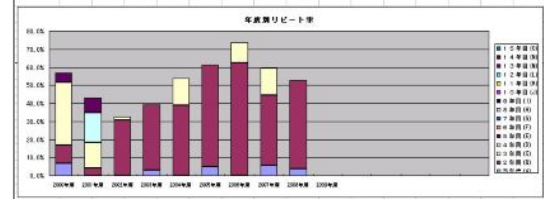
売上額や粗利額で OB 顧客の占める割合を年度毎に確認できます。



【リピート率】

ある年度で新規顧客だったお客様が、何年後に OB 顧客になったのか、確認できます。

年別新規顧客	約0年	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	6年経過	7年経過	8年経過	9年経過	10年経過	11年経過	12年経過	13年経過	14年経過	15年経過
顧客数	80	28	48	88	81	82	81	83	81	81	81	81	81	81	81	81
売上金額	348	271	782	291	252	684	482	82	218	41						
粗利金額	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%	56.7%



1-3. 顧客情報と紹介者情報の結びつけ

Ver.3.2.0000 から、顧客情報と紹介者情報を結びつけることによって、お客様が紹介したお客様を確認できるようになりました。



【顧客情報一覧画面】

いままでは、左図の顧客情報一覧画面に表示されているお客様を紹介した紹介者しか確認できませんでした。

Ver.3.2.0000 からは、この一覧に表示されているお客様が紹介したお客様も確認できるようになりました。

※確認するためには、[紹介者・顧客一覧 CSV 出力]をクリックして CSV ファイルを出力します。

1-4. その他

その他の改善箇所につきましては、お客様情報管理ソフト専用 WEB サイトにあります「バージョンアップのポイント」を参照してください。

2. 実行方法

①「 現在、使用中のソフトがスタンドアロン/サーバー用か確認します。

確認方法は、次ページの【ご使用中のお客様情報管理ソフトがスタンドアロン/サーバー用か確認する方法】を参照してください。

スタンドアロン/サーバー用でなかった場合は、別紙「Ver.3.2.0000 バージョンアップ方法(クライアント用)」を参照してください。

② お客様情報管理ソフト専用サイトの「最新バージョンアップ情報」の「Ver3.2.0000Server.exe」をクリックして、お客様情報管理ソフトのスタンドアロン/サーバー用がインストールされているパソコンに保存してください。

③ 保存した ver3_2_0000Server.exe ファイルをダブルクリックしてください。

④ インストーラが起動しますので、[次へ]ボタンをクリックしてください。

※この操作は数回続きます。

⑤ 「インストールが完了しました。」の画面が表示されましたら、[閉じる]ボタンをクリックして、インストールを終了してください。

⑥ これで、アップグレードは終了です。

⑦ ダウンロードした ver3_2_0000Server.exe ファイルは削除してください。

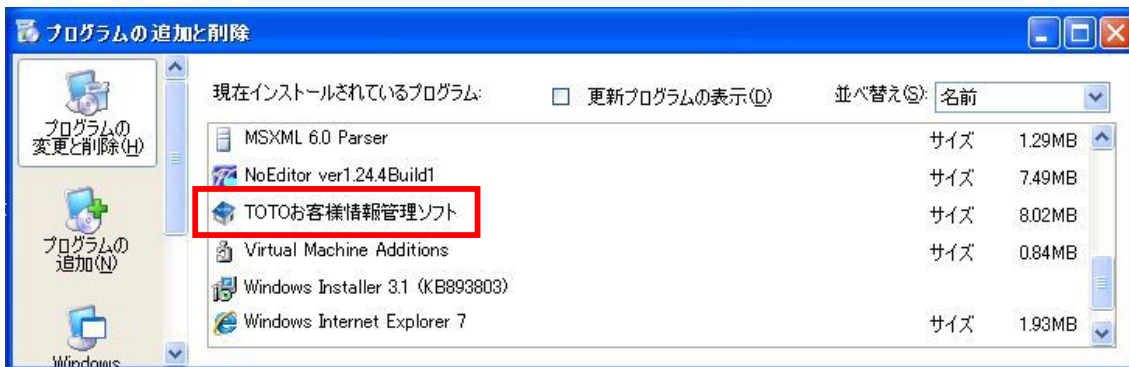
これで作業は終了です。

※インストール作業が終了しましたら、「3. バージョンアップ後の作業」へ進んでください。

【ご使用中のお客様情報管理ソフトがスタンドアロン/サーバー用か確認する方法】

● Windows XP をお使いの方

- ① [スタート]>[設定]>[コントロールパネル]>[プログラムの追加と削除]と移動します。
- ② スタンドアロン/サーバー用がインストールされている場合は、下図のように表示されます。



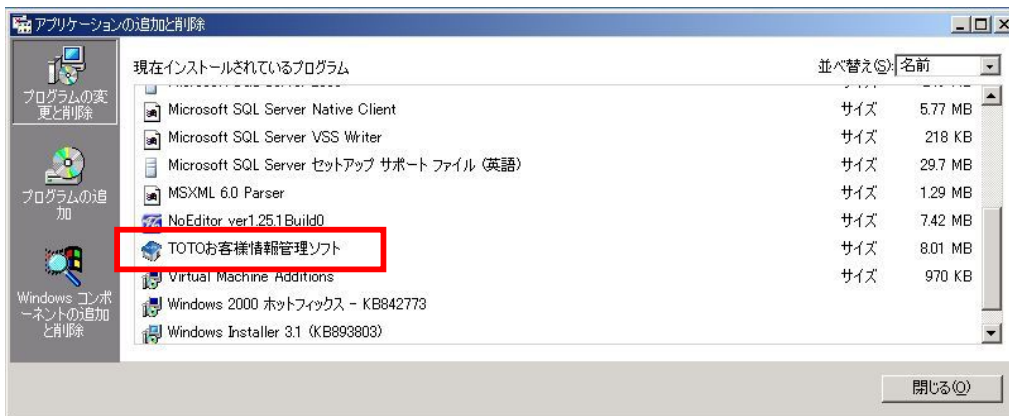
● Windows Vista をお使いの方

- ① [スタート]>[コントロールパネル]>[プログラムのアンインストール]と移動します。
- ② スタンドアロン/サーバー用がインストールされている場合は、下図のように表示されます。



● Windows 2000 をお使いの方

- ① [スタート]>[設定]>[コントロールパネル]>[アプリケーションの追加と削除]と移動します。
- ② スタンドアロン/サーバー用がインストールされている場合は、下図のように表示されます。



3. バージョンアップ後の作業

バージョンアップが終了しましたら、次の**2点の作業を必ず実施**していただきますようお願いいたします。

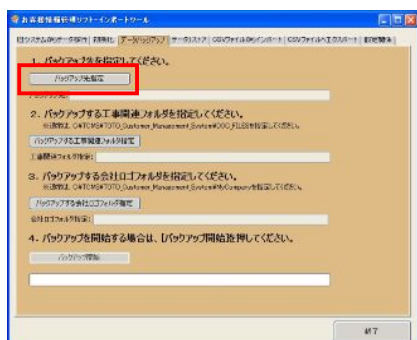
1. バックアップ
2. 顧客情報と紹介者情報の結びつけ処理

3-1. バックアップ

- ① [スタート]>[プログラム (すべてのプログラム)]>[お客様情報管理ソフト]>[お客様情報管理ソフト-インポートツール]をクリックします。お客さま情報管理ソフトのインポートツールが起動しますので、[データバックアップ]タブをクリックします。



- ② データバックアップ画面が表示されます。[バックアップ先指定]をクリックします。



- ③ 「フォルダの参照」画面が表示されますので、バックアップ先を指定します。アクセス権限のないフォルダには、バックアップができませんので、バックアップ先には、一旦「TCMS」フォルダ内を指定することをお勧めします。ここでは、「TCMS」フォルダ内にバックアップを作成する方法を案内いたします。※「TCMS」内にバックアップを作成しましたら、外付けHD等別の場所に保管します。※インストール時に、インストール先を変更した場合は、「TCMS」フォルダをインストール先フォルダに読み替えてください。



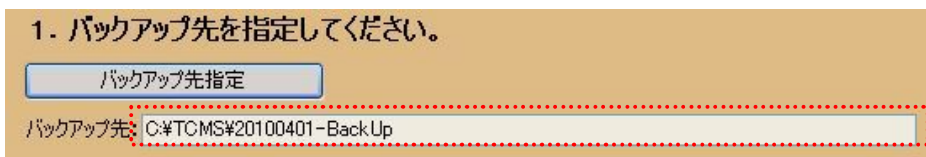
- ④ 「TCMS」フォルダを指定しましたら、[新しいフォルダの作成]をクリックします。
「新しいフォルダ」が作成されます。



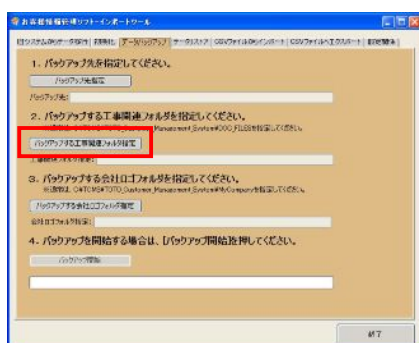
- ⑤ 「新しいフォルダ」のフォルダ名を、いつのバックアップデータかわかりやすいフォルダ名に変更します。ここでは、「20100401-BackUp」というフォルダ名に変更しました。
※フォルダ名の変更は、該当のフォルダを右クリックして、「名前の変更」を選択することでできます。
フォルダ名を変更しましたら、[OK]をクリックします。



- ⑥ バックアップ先が、表示されます。



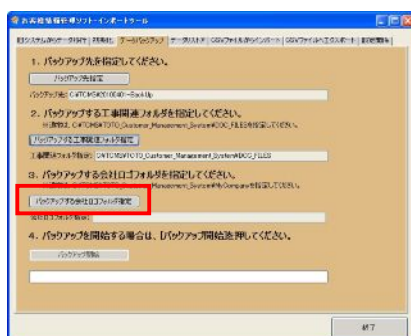
- ⑦ 次に[バックアップする工事関連フォルダ指定]をクリックします。



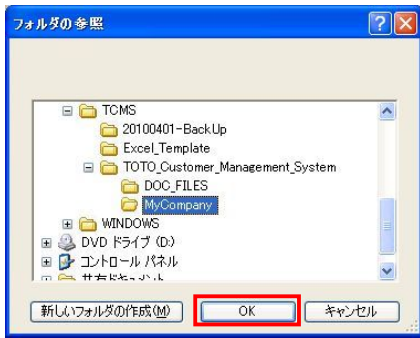
- ⑧ 「フォルダの参照」画面が表示されますので、「TCMS」フォルダにある「TOTO_Customer_Management_System」フォルダの中の「DOC_FILES」フォルダを指定し、[OK]をクリックします。



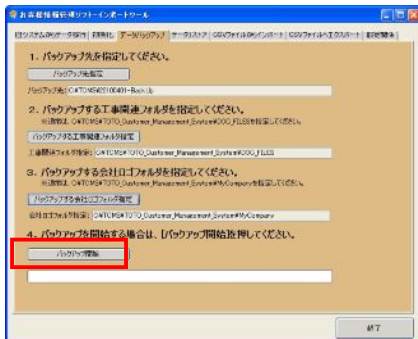
- ⑨ 次に[バックアップする会社ロゴフォルダ指定]をクリックします。



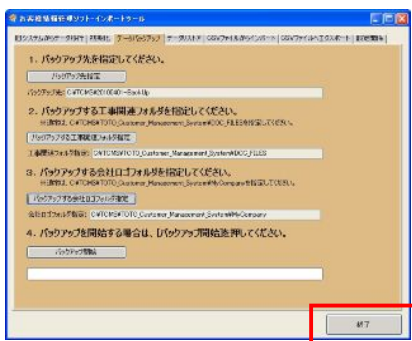
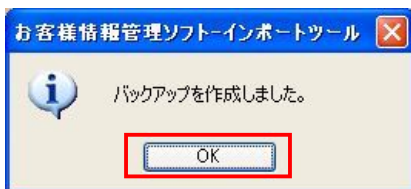
- ⑩ 「フォルダの参照」画面が表示されますので、「TCMS」フォルダにある「TOTO_Customer_Management_System」フォルダの中の「MyCompany」フォルダを指定し、[OK]をクリックします。



- ⑪ バックアップ先フォルダ、工事関連フォルダ、会社ロゴフォルダを指定しましたら、[バックアップ開始]をクリックします。



- ⑫ バックアップの作成を知らせるメッセージが表示されます。[OK]をクリックし、インポートツールの[終了]をクリックして、バックアップ完了です。



3-2. 顧客情報と紹介者情報の結びつけ処理

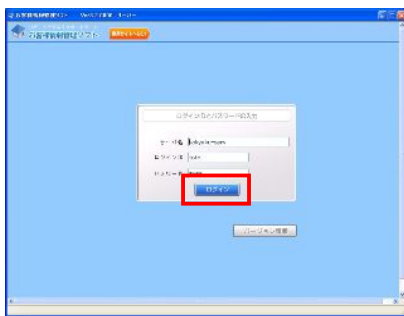
バックアップ終了後、顧客情報と紹介者情報の結びつけ処理を行います。

結びつけ処理を実行すると、登録されている紹介者と同じ氏名、同じ電話番号の人物が顧客情報に登録されている場合、その顧客情報で紹介者情報を上書きします。登録されている紹介者と同じ氏名、同じ電話番号の人物が顧客情報に登録されていない場合は、その紹介者を新たに顧客情報に登録します。この登録の際、顧客情報登録上、必要な情報が紹介者情報に入力されていない場合、その紹介者の顧客情報への登録をスキップします。

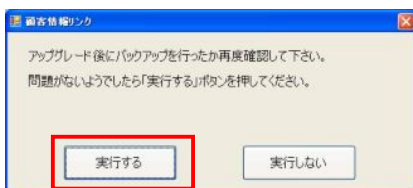
スキップされた紹介者は、結びつけ処理後の処理結果ファイルで判別できますので、そのファイルを参照して、手入力が必要な情報を追加します。

結びつけ処理は以下の手順で行います。

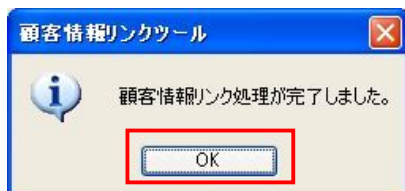
- ① お客様情報管理ソフトを起動し、ログイン ID、パスワードを入力後、[ログイン]をクリックします。



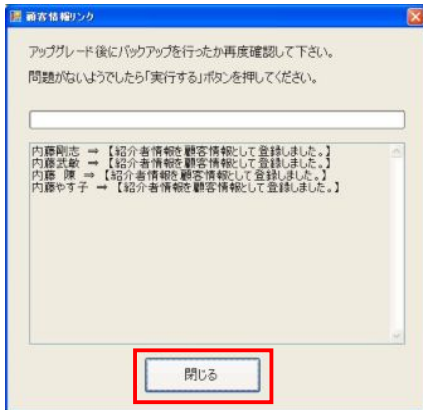
- ② 顧客情報と紹介者情報の結びつけ処理実行の確認メッセージが表示されます。[実行する]をクリックします。



- ③ 結びつけ処理終了を知らせるメッセージが表示されます。[OK]をクリックします。



- ④ 結びつけ処理の結果が表示されます。[閉じる]をクリックして、結びつけ処理を終了します。



- ⑤ トップメニューへ遷移します。これで、結びつけ処理の終了です。



- ⑥ 手順④の画面にも、処理結果は表示されますが、処理結果をファイルに出力しています。処理結果ファイルは、「YYYYMMDD_LINK.txt」のファイル名（YYYYMMDD の部分は西暦 4 桁の日付）で、「TCMS」フォルダに出力されます。

出力内容には以下のものがあります。※○○○○には、紹介者情報の氏名が入ります。

A. 『○○○○ ⇒ 【顧客情報で紹介者情報を上書きしました。】（参照コード：△）』

→紹介者と、同姓同名で同電話番号が顧客情報に登録されていたので、顧客情報で紹介者情報を上書きしたことを意味します。メッセージ末尾の参照コードの部分は、結びつけ処理前に入力されていた紹介者情報の参照コードと上書きした顧客情報の顧客コードが異なる場合表示されます。出力されているのは、結びつけ処理前の参照コードの値です。

B. 『○○○○ ⇒ 【紹介者情報を顧客情報として登録しました。】（参照コード：△）』

→紹介者と、同姓同名で同電話番号が顧客情報に登録されていないため、紹介者情報を新規で顧客情報に登録したことを意味します。メッセージ末尾の参照コードの部分は、結びつけ処理前に入力されていた紹介者情報の参照コードが表示されます。

C. 『○○○○ ⇒ 【顧客情報として登録できなかった為、参照コードを空白にしました。】

(参照コード：△)』

『○○○○ ⇒ 【必須項目がないため登録できませんでした。】(参照コード：△)』

→上記、2つのメッセージは、1つのデータに対して出力されます。意味は、紹介者情報に顧客情報登録に必要な情報が入力されていないため、顧客情報の登録できなかった、というものです。

また、参照コードを空白にしたことも知らせています。もし、空白にする前に値が入力されていた場合は、メッセージ末尾の参照コードの部分に空白にする前の参照コードが表示されます。

このメッセージが表示された紹介者は、システムから手動で紹介者情報を登録する必要があります。

※参照コードとは、Ver3.1.0100以前の紹介者情報ページにある項目です。Ver3.2.0000からは、参照コードという項目はなくなり、顧客コードになりました。

D. 『予期せぬエラーが発生しました。<エラーメッセージ>上書き、登録したデータは0件です。』

→結びつけ処理で、想定外のエラーが発生したことを意味します。<エラーメッセージ>の部分にエラーログが表示されます。このエラーが発生した場合は、結びつけ処理は1件も行いません。

エラーログとともに、問い合わせ窓口にご連絡ください。

- ⑦ 「YYYYMMDD_LINK.txt」の他にも、「顧客と物件情報.csv」「紹介者情報.csv」を「TCMS」フォルダに出力しています。これは、結びつけ処理の実行前の情報はどうだったのか確認用に出力しています。

エラーが生じた場合、またはうまく動作しない場合

お問い合わせ先は、下記にご連絡をお願いいたします。

TOTO リモデルプロモーションセンター

パソコンソフト担当

TEL：03-3436-2210

FAX：03-6836-2220

営業時間

月～金（祝日除く）

9：00～17：30

以上